

# 7-10

## 『咲かせよう笑顔満開に!!』

園芸療法を通じて～不穏軽減についての取り組み～

アクティビティ活動

自立者支援

特別養護老人ホーム 大洋園

発表者：介護職員 野口 満里奈	共同研究者：齋喜 逸江
所在地：東京都青梅市今井5-2440-141	
TEL：0428-31-3666	E-mail： <a href="mailto:tokuyou@taiyoen.or.jp">tokuyou@taiyoen.or.jp</a>
FAX：0428-31-3642	URL： <a href="http://www.taiyoen.or.jp">http://www.taiyoen.or.jp</a>

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	東京都の西端、青梅市という緑と太陽に恵まれた地域で、昭和59年5月に100床の特養として根をおろし24年。現在160床のベッドに加え同市内に多くの在宅サービスを多角的に提供し、地域福祉の貢献に日々全力で取り組んでおります。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・対象者：A氏 89歳 女性 年相応の認知あり。要介護度3、他者への暴言・暴力行為が頻回にあり。無表情なことが多く、介護拒否みられる。</li><li>・本人から花や野菜を育てることが好きだと話あり、又家族より昔家庭菜園をやっていたと話を伺う。</li></ul> <p>↓</p> <p>『園芸療法の実施』</p> <p>↓</p> <p>「安心した生活を送って頂き笑顔を増やす!!」</p> <p>〈具体的な取り組み〉</p> <p>☆園芸療法の実施☆</p> <p>⇒単調になりがちな日常生活の中で心身機能のリフレッシュにつなげる。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①A氏の不穏状態の把握に努めるため状況表設置。</li><li>②他利用者を交えプランターに土を入れ種をまく。</li><li>③本人が選んだ小松菜・大根・向日葵・いちごをプランターで育てる。</li><li>④水やりを行う。⇒チェック表設置する。</li><li>⑤収穫し調理する。</li></ol>	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <p>◇土をいじる際は、他利用者への配慮をみせ普段の関わり方とは異なっていた。</p> <p>↓</p> <p>「五感の刺激になりストレスの緩和。自信につながっていた。」</p> <p>◇自ら水やりを行うようになり植物の成長を楽しむようになった。</p> <p>◇収穫し、調理する際には積極的に参加する姿あった。</p> <p>◇園芸療法を通じて、職員とのコミュニケーションの幅も広がり、A氏の新たな一面を知ることができた。</p> <p>◇外の空気に触れることでA氏、また職員の気分転換に繋がった。</p> <p>◇園芸療法中に不穏状態になることは1度もなく優しい言葉が聞かれていた。</p> <p>↓</p> <p>園芸療法中、A氏の『笑顔』が咲いた!!</p> <p>新たな効果として、調理の際箸が使用出来、普段も食事の際箸を使用するようになった。</p> <p>↓</p> <p>むせ込みも減った。</p> <p>〈今後の課題〉</p> <p>1対1の取り組みで、A氏とのコミュニケーションを図る・不穏の原因を知ることはできたが、他利用者と協力して活動する時間が少なかったため、今後他の利用者と協力して活動できる体制をとっていきたい。</p>
---	---

### 【メモ欄】